



JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邊暁雄 —

Tokyo

東京定期演奏会
781st

George
GERSHWIN



Fazil
SAY



HATTORI
Moné



HIROKAMI
Junichi



Aaron
COPLAND



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

**SUBSCRIPTION
CONCERTS**

2026.6

HIROKAMI
Junichi



W.A.
MOZART



Max
BRUCH



MOON
Boha



L.V.
BEETHOVEN



Yokohama

横浜定期演奏会
418th

日本フィルハーモニー交響楽団



CONTENTS 目次

東京定期演奏会プログラム	4
次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー フランソワ・ルルー編	10
横浜定期演奏会プログラム	12
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	16
次回横浜定期演奏会	17
写真プレイバック- 2026年3月~4月 -	18
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	19
今後の日本フィル出演公演	20
感動の共有 ~ご支援のお願い~	29
日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	30
日本フィルハーモニー交響楽団 パトロネージュご芳名	34
秋冬芸劇シリーズ2公演セット券	36
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	37
インフォメーション	38
オーケストラ・プロフィール	39
楽団紹介	40

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF



演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を



ビニール袋

靴にしまし、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご配慮ください。



マジックテープやファスナーの音

開け閉めの音は意外に響きます。演奏前にご確認ください。



飴の袋

客席内の飲食はご遠慮いただいております。お咳の予防等ご利用の際は、演奏前にお口の中に入れるか、あらかじめ袋から出しておく等のご準備をお願いいたします。



鈴などアクセサリがついたストラップ

靴にしましなど鳴らないようにご配慮ください。



補聴器の音

ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を



私語



せき

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止



録音禁止



録画禁止



写真撮影禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周辺にご配慮を



身を乗り出さない



つばの広い／高さのある帽子

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周辺にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。
3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、演奏会から5日以内にご回答をお願いします。



第781回東京定期演奏会

781st Tokyo Subscription Concerts

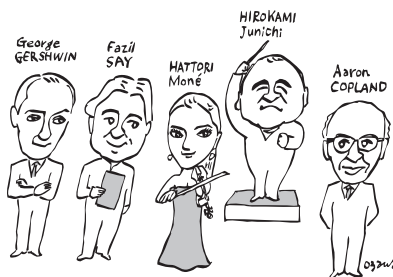
2026年 6月6日(土) 14:00 開演

6月7日(日) 14:00 開演

サントリーホール

2:00p.m., Saturday, 6th & 2:00p.m., Sunday,
7th June, 2026, at Suntory Hallプレトーク「本日の聴きどころ」 土曜日/13:20~
日曜日/13:20~東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや
楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。

今月は指揮者の広上淳一さんと音楽評論家の山野雄大さんです。



ガーシュウィン 《パリのアメリカ人》(約21分)

George GERSHWIN "An American in Paris"

ファジル・サイ ヴァイオリン協奏曲
《ハーレムの千一夜》op.25(約32分)Fazil SAY Violin Concerto "1001 Nights in the Harem", op.25
I. Allegro · Cadenza
II. Allegro assai · Cadenza
III. Andantino
IV. (without tempo indication) · Coda (Andantino)

休憩(15分) Intermission

コープランド 交響曲第3番(約45分)

Aaron COPLAND Symphony No.3
I. Molto moderato - with simple expression
II. Allegro molto
III. Andantino quasi allegretto
IV. Molto deliberato (freely, at first)- Doppio movimento, allegro risoluto指揮 広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]
Conductor HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisorヴァイオリン 服部 百音
Violin HATTORI Monéコンサートマスター 扇谷 泰朋
Concertmaster [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster6月6日(土)公演は
ライブ&アーカイブ
配信あり!Member's TVU CHANNELにて配信
<https://members.tvu.com> 詳細はP37へ*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成 /

協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

TANAKEN株式会社

ホックンホールディングス株式会社

三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

Conductor

指揮

広上 淳一

[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor



©Masaki Tomitori

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

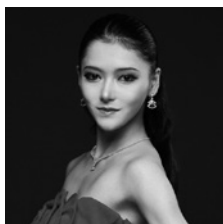
近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。2025年から日本フィルと「オペラの旅」プロジェクトをスタート、初回《仮面舞踏会》は絶賛された。

2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。

2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。日本フィルハーモニー交響楽団では1991年~2008年まで正指揮者を務め、現在フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)。また、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一を兼務。さらに、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

◀指揮者インタビューは
こちらから
(5月東京定期プログラム掲載)



©Yuji Hori

Violin
ヴァイオリン

服部 百音

HATTORI Moné

1999年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め8歳でオーケストラと共演。10歳以降様々な国際コンクールで優勝やグランプリを受賞し、11歳ミラノでのリサイタルデビューを皮切りに国内外で演奏活動を始め。これまでに、新日鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞、ブルガリアウローラアワードを受賞。

ウラディミール・アシュケナーズとスイス、イタリア公演、アラム・ハチャトリアン音楽祭、トランス・シベリアン音楽祭、トルコでの国連80周年コンサートなどで演奏。国内ではN響、都響、読響、東京フィル、東響、日本フィル、新日本フィルをはじめとする数々の著名オーケストラ、指揮者と共演を重ねている。2021年にNHK交響楽団、パーヴォ・ヤルヴィと共演、翌年はドイツ・カンマーフィルと共演し大好評を博す。2022年より自ら音楽家を招く企画コンサート「STORIA」を展開し、2024年にNHK交響楽団、井上道義氏指揮でショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲1番・2番を1夜に演奏する世界初の企画を実現させ歴史的な名演と称された。日本での演奏機会に恵まれない名曲の普及にも勤め、ファジル・サイのソナタをはじめ現代作曲家の日本初演などにも意欲的に取り組んでいる。17歳の時の初CD「ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン：カルメン幻想曲」はレコード芸術で特選盤等、高い評価を受けた。現在も国内外で演奏活動を行っている。桐朋学園大学院を修了。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のグアルネリ・デル・ジェス。

オフィシャルHP <https://www.mone-violin.com/>

PROGRAM NOTES

解説：山野 雄大

ガーシュウィン：《パリのアメリカ人》

アメリカはニューヨーク、移民も多く人種と多彩な文化のつぼでもあったブルックリン地区にユダヤ系のロシア移民の子として生まれたのが、作曲家ジョージ・ガーシュウィン(1898-1937)。ホワイトマン楽団が企画した新しい〈シンフォニック・ジャズ〉のコンサートのために委嘱された《ラブソディ・イン・ブルー》(1924年)で、アメリカ音楽史に新たなページをひらくことになった。

翌年、指揮者ダムロツシュからの委嘱で書いた〈ピアノ協奏曲へ調〉ではオーケストラ総譜もすべて自分の手で書き上げ(前作は他人の編曲で悔しい思いをしていた)自信をつけたガーシュウィンは、1928年に再びダムロツシュから新作委嘱を受けた時、いよいよ得意のピアノ独奏を封印し、純粋なオーケストラ曲を……と奮起する。ちょうどその頃、多忙をぬってヨーロッパをたびたび訪れていた間に書き始めていた交響詩《パリのアメリカ人》を完成させることにした。

これはいわば〈異国を訪れた旅人の興奮と郷愁〉を描いた作品だ。街の喧噪に重ねられる孤独感には、成功と屈辱とに揺れる作曲家の心も反映していようか。——冒頭からはずむようなリズムにのせたメロディ(〈散歩のテーマ〉といったところか)に続いて、タクシーの警笛(世界初演では、パリから本物を取り寄せて演奏されたという)など、パリの街できこえてくる音が巧みに描写されている。中間部ではゆったりとテンポを落として〈ブルース〉の音楽へ。遠く離れたアメリカの回想と感傷が。そして再び勢いよく、当時アメリカで大流行していた〈チャールストン〉でご機嫌に。そして〈ブルース〉のメロディが堂々と再帰し……と、単一楽章のなかに交響曲的な構成を採り込んでみせてもいる。

当時の音楽では珍しいテューバの独奏や、サクソフォン群の活躍、打楽器群やチェレスタなど音色表現まで凝っているが、初演時に後半(第3部)の4ヶ所(100小節以上)がおそらく指揮者ダムロツシュの提案でカットされた上、作曲家の没後にフランク・キャンベル=ワトソンによる改訂(1942年)が加えられ、こちらの楽譜での演奏が慣行となっている(サクソフォン群の持ち替えを演りやすくしたほか、管楽器を中心に細部を手直ししている)。

楽器編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、サクソフォン3、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、トムトム、シンバル、トライアングル、シロフォン、グロックンシュピール、タクシー・ホーン、ウッド・ブロック、ワイヤー・ブラッシュ、チェレスタ、弦楽5部。

ファジル・サイ：ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》op.25

ファジル・サイ(1970年生)が最初に世界的な注目を集めたのは、独創的な解釈で聴き手を驚かせる鬼オピアニストとしてだったが、伝統の殻を破ったその活躍は、作曲家としての個性あつてのことでもある。

トルコの首都アンカラに生まれたサイは、少年期から作曲家としての才能を発揮。故国の風土や民俗音楽的な要素も反映しながら、クラシックと民俗音楽、ジャズなど様々な音楽が幻想的に混じり合い、昂揚を呼ぶ作風で人気を博した。ピアノの内部奏法でトルコの伝統楽器を模したりと幻想的な《ブラック・アース》(1997年)など自作録音もサイの名を高めたが、交響曲やバレエ音楽など大編成作品も多数。日本フィル第777回定期(2026年1月/広上淳一指揮)で演奏されたチェロ協奏曲《Never Give Up》(2017年)に続いて、既に録音も2種あり実演も盛んな人気作

であるヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》(2006年/ルツェルン交響楽団委嘱)をお聴きいただく(後の2020年に第2番が発表されたので、本作は第1番ということになる)。

タイトルから想像されるように、『アラビアン・ナイト』(アラブ民間文学の集成)をイメージしたものだ。王の残虐をとめるため、王妃シェヘラザードが千と一夜にわたって多彩な物語を語りかせ……というところから『千一夜物語』という別称でも知られる本だが、サイ作品は、同じくこの説話集から着想を得たリムスキー=コルサコフの交響組曲《シェヘラザード》(1888年)に連なるものと言える(実際、ドイツなどでは両作を併せて一夜のバレエ作品としても上演されている)。

冒頭から麻酔的なリズムを繰り返すクドゥム(太鼓)など、トルコの打楽器もあれこれ駆使したオーケストラと共に、ヴァイオリン独奏も縦横無尽に大活躍する。タイトルにある「ハーレム」とはもともと「禁じられた場所」「神聖な場所」という意味で、イスラーム上流家庭で女性の居室、あるいは王室の後宮のこと。独奏ヴァイオリンがいわば(語り手)役を担いながら、全4楽章で幻想の情景を歩んでゆく。——**第1楽章**は、ハーレムの中でたくさんの女性たちが個性も様々に登場。**第2楽章**では、多彩な舞曲で祝宴が展開される。夜が明けて**第3楽章**では、トルコの有名な歌による変奏曲。そして終楽章は、劇的な興奮から官能的で穏やかな夢見心地に……。

サイが共演を続けてきた若き鬼才、パトリシア・コパチンスカヤのために作曲されただけあって、独奏にも自在奔放な個性と多彩な音色・奏法が要求されているが、本日ソロを務める服部百音も本作を得意として実演を重ねてきたひと。本日も、彼女自身の音楽として十全に表現してくれるはずだ。

楽器編成: 独奏ヴァイオリン、ピッコロ1、フルート2、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット1、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンブリン、ダラブック、クデyum、バンディール、ウインド・チャイム、ヴィブラフォン、ウッド・ブロック、マリンバ、クラベス、ロート・タム、ハーブ、チェレスタ、弦楽5部。

コーブランド: 交響曲第3番

20世紀アメリカを代表する作曲家アーロン・コーブランド(1900-90)には、クラシック音楽としての手堅い美しさを磨きながら、明るく広々とした親しみやすさを失わない人気作が多い。20世紀アメリカ音楽の(顔)であり、ある意味で(アメリカのイメージ)ともなった存在だ。

コーブランドはブルックリン生まれ。父はリトアニアから移民してきたユダヤ人で、母も少女時代に移民してアメリカ中西部やテキサスで育ったひと。ラグタイムと共に育ち、幼い頃から作曲を始めたアーロンは、1921年からはフランスに留学。名伯楽ナディア・ブーランジェに作曲を師事しながら、ストラヴィンスキーなど時代の覇者たちから強烈な刺激を受け(モダニスト)としての才能が開花する。

しかし、1929年から世界恐慌が顕在化。社会のなかで聴衆に向かって語りかける音楽でな

ければ、音楽芸術は博物館行きだ……とコーブランドは考えを研いでゆく。高度な作曲技術をより平明な表現へ融かし込み、芸術における(大衆性(ポピュリズム))を追究したその作風は、コーブランド自身によって(インポーズ・シンプリシティ(課せられた平易さ))とも称され、彼は(アメリカナ(アメリカ国民主義))的な作曲家の代表格となった。

(ポピュリスト)であり(モダニスト)でもある作曲家の最高峰——それが、本日お聴きいただく(交響曲第3番)(44~46年)だ。以下、作曲家自身による楽曲解説も引きながらご紹介しよう。

【**第1楽章**】〔**モルト・モデラート、シンプルな表情をもって**〕は全曲の序章にあたる音楽。「3つの主題は明快に提示される。第1主題は弦楽器によって冒頭で奏でられる。第2主題は似たような雰囲気でもヴァイオリンとオーボエによって、より大胆な性格の第3主題はトロンボーンとホルンによって奏される。全体はアーチ型の形式となっており、中間部はより活気に満ち、終結部は拡張されたコーダとして冒頭の素材を広げた形を示している。第1主題と第3主題は、後の楽章でも再び引用される」。

【**第2楽章**】〔**アレグロ・モルト**〕は三部形式のスケルツォ。金管楽器による導入部から徐々に現れてくる主題、それがさまざまな楽器に引き継がれながら繰り返されるうちに、様々なエピソードも挟まれる。中間部のトリオは「木管のソロが抒情的かつカノン風の様式で新しいメロディを奏でる」。やがてピアノ独奏がスケルツォ主題を変容させながらコミカルに再現、奏による再現部にもトリオの抒情的主題が回帰しつつ、最後は冒頭の動機が重なり戻る壮大なコーダ……と凝った構成も心おどらせる。

【**第3楽章**】〔**アンダンティーノ・クアジ・アレグレット**〕は「各セクションは密接に連なる変奏曲のように、一連の流れの中で互いに連鎖する」が、「冒頭部は導入以外の役割は果たしていない」と言うように、よく聴くと第1楽章第3主題の変形。展開の後、フルート独奏に現れるのが変奏の基になる主題なのだ。「はじめは歌心あるノスタルジア、続いて重厚で舞曲のように、さらに子供っぽく素朴に、最後は力強く」と変容を遂げ……明るい夢幻のような音楽が静かに遠ざかってゆくと、そのまま切れ目なく終楽章へ。

【**第4楽章**】〔**モルト・デリベラート(最も慎重に)——アレグロ・リゾルト(速く決然と)**〕の冒頭から静かに奏されるファンファーレは、有名な《市民のためのファンファーレ》(1942年)に基づいたもの。これを導入部としてソナタ形式で展開する。「この楽章の特徴のひとつは、第2主題が普通の位置ではなく、展開部に埋め込まれていること」で、再現部でも主題とファンファーレの組み合わせ、さらには第1楽章の主題再現など、記憶が重なり甦りながら新たな流れをつくってゆくさまが清冽な驚きを加え続ける。最後は「作品冒頭のフレーズを壮大に再提示することで幕を閉じる」。

楽器編成: ピッコロ1、フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン持替1)、E♭管クラリネット1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、中太鼓、小太鼓、シンバル、銅鑼、シロフォン、テューブラベル、グロッケンシュピール、むち、ウッド・ブロック、ラチャット、クラベス、金床、ハーブ、ピアノ、チェレスタ、弦楽5部。

NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

第782回東京定期演奏会

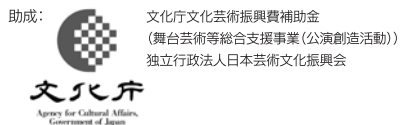
2026年 7月10日(金) 19:00 開演
7月11日(土) 14:00 開演
サントリーホール

プレトーク 山崎 浩太郎氏 金曜日/18:30~
土曜日/13:20~

■1回券料金

S ¥10,000 A ¥8,500 B ¥7,500 C 売完 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。



ルルー再び!夏の東京に響くベートーヴェンとプロコフィエフの名作

ベートーヴェン:
ヴァイオリン協奏曲
二長調 op.61

プロコフィエフ:
交響曲第5番
変口長調 op.100



指揮: フランソワ・ルルー



ヴァイオリン: 諏訪内 晶子

※当初の予定から変更になりました。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

フランソワ・ルルー編

きき手 山崎 浩太郎

現代を代表する世界的なオーボエ奏者であるフランソワ・ルルーは、近年は指揮者としての活動にも力を入れ、ヨーロッパ各地の交響楽団との共演を重ねている。日本フィルとの2022年の初共演では、生彩に富んだ指揮ぶりで聴衆だけでなく楽員まで魅了した。今回が早くも3度目の登場となる。

——2022年と2024年に指揮されたさいの、日本フィルの印象をお聞かせください。

とても高いプロフェッショナリズムを持つオーケストラという印象を受けました。厳格さと同時に柔軟性もそなえている。2024年には、木管十重奏のためのラフのシンフォニエッタと一緒に演奏しましたが、本当に素晴らしかった。深い音楽性を持っていることを感じて、感激しました。2022年に指揮したビゼーの交響曲第1番も、とてもよい思い出になっています。

——今のお話にあったラフの作品のように、これまでの演奏会はルルーさんがオーボエを吹かれて、管楽器や弦楽器のアンサンブルと共演する作品も含まれておりましたが、今回は指揮だけに専念されるのですか?

最近ヨーロッパでも、純粋に指揮だけをするコンサートがどんどん増えているのです。それに今回は、ソリストとして諏訪内晶子さんが出演されるので、指揮者として彼女とぜひ共演したいと考えました。

——諏訪内さんとは、2005年に録音された、バッハのヴァイオリンとオーボエのための協奏曲のCDで共演されていますね。

そのレコーディングのあとに、諏訪内さんとはヨーロッパ室内管弦楽団と一緒にツアーをやったこともあるのです。でもそれ以来共演の機会がなかったので、演奏会での再会がとても楽しみです。特に今回は、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲という名曲での共演ですから。

——ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲はこれまでも指揮されているのですか?

たくさん指揮しているというわけではありませんが、妻がヴァイオリニストなものですから(笑)、スペインなどで共演して指揮したことがあります。

——そうでした、リサ・パティアシュヴィリさんでしたね(笑)。では、この作品についてどのような印象をお持ちですか?

とても美しい作品です。緩徐楽章などは、神がかっているといってもいいくらい。全体を通して、雄大な自然の強い力を感じます。自然というのは、インスタントにできあがるものではなく、時間をかけて育っていくものです。特に第1楽章では旋律が反復されるうちに、徐々に成長していく。そこに、自然の力強さを感じます。

——なるほど。次第に育っていく自然の力。どのような演奏を聴かせていただけるのか、とても楽しみです。では続いて、後半のプロコフィエフの交響曲第5番は、どうしてこの曲を選ばれたのですか?

今の時代に必要だと確信したからです。人間の自由、というものの素晴らしさを讃えている作品だと思いますから。この作品は第2次世界大戦中に作曲され、ナチスを打倒しようという時期に初演されました。そういった背景も含めて大好きな作品なので、今回指揮できることをとても楽しみにしています。

——作品のききどころはどのあたりと思われませんか?

特に注目していただきたいのは、第3楽章のアダージョと次の終楽章ですね。前者はとても深い感情表現をもち、後者は爆発的な、力強く勝利する終楽章。これらがポイントだと思います。

——自由を讃え、その勝利を確信させる作品。現実の世界にも、そうした喜びが一日も早く訪れることを祈りたいですね。

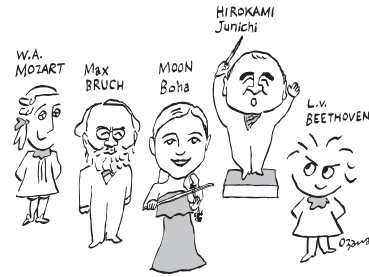
まさにそれが、今回のプロコフィエフの演奏を通じて、多くの方にお伝えしたいメッセージです。

第418回横浜定期演奏会

418th Yokohama Subscription Concert

2026年6月27日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール3:00p.m., Saturday, 27th June, 2026,
at Yokohama Minato Mirai Hall

オーケストラガイド 14:20から15分程度

小宮 正安 氏
ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学(大学院都市イノベーション学府・都市科学部)教授。テレビやラジオへの出演や監修、ナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。

モーツァルト 歌劇《劇場支配人》序曲 K.486(約5分)

Wolfgang Amadeus MOZART Der Schauspieldirektor, K.486, Overture

ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 op.26(約25分)

Max BRUCH Concerto for Violin and Orchestra No.1 in G-minor, op.26
I. Vorspiel: Allegro moderato
II. Adagio
III. Finale: Allegro energico

休憩(15分) Intermission

ベートーヴェン 交響曲第5番《運命》ハ短調 op.67(約37分)

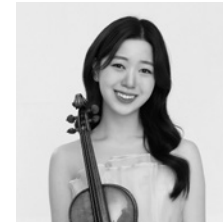
Ludwig van BEETHOVEN Symphony No.5 in C-minor, op.67
I. Allegro con brio
II. Andante con moto
III. Allegro
IV. Allegro指揮 広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]
Conductor HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisorプロフィールは
P5をご覧くださいヴァイオリン ムン・ボハ ※当初の発表の出演者より変更になりました
Violin MOON Bohaコンサートマスター 扇谷 泰朋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
ご要望の方は主催者までお申し出ください。主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
表紙イラスト / 小澤 一雄

助成 /

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援 / tvk(テレビ神奈川)

協力 / 横浜みなとみらいホール、仙台国際音楽コンクール事務局



©Jung Hyun Heo

Violin
ヴァイオリン

ムン・ボハ

MOON Boha

第9回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門最高位(第2位)
2006年韓国生まれ。これまでに、ピエール・アモイヤル、ヨゼフ・シュパチェク、キム・ナムユン、アナト・マルキン・アルマニに師事。2023年からはアメリカのカーティス音楽院でアイダ・カヴァフィアンのもと研鑽を積む。

音楽春秋(2015年)、梨花京郷(2018年)、シンガポール・ヴァイオリンフェスティバル(2019年)、IMA音楽賞(2019年)、ユーロアジア国際(2020年)、コチャン(2022年)など多くのコンクールで第1位に輝くほか、2020年レオニード・コーガンコンクール、2021年ユーディ・メニューイン国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門、2022年若い音楽家のための珠海モーツァルトコンクールなどで入賞を果たす。2025年仙台国際音楽コンクールで最高位(第2位)を受賞。

2021年にソナスアーツの「ヤング・ソリスト」に選ばれ、スイスでソロリサイタルを行う。2023年にはドイツのフェスティヴァル・デア・ナツィオーネンにおいてヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、バイエルン放送交響楽団メンバーと共演した。

これまでカーネギーホール(入賞者コンサート、2017年)、ルドルフィヌム・ドヴォルザーク・ホール(ヤングブラハ音楽祭、2022年)、ロッテ・コンサートホール(チューリッヒ・ユース交響楽団、2022年)、チューリッヒ音楽学校(2022年)などで演奏している。

ミハエラ・マルティン、クライディ・サハトチ、ノア・ベンディックス=バルグリー、フィリップ・ドラゴノフ、アニ・シュナーク、マーティン・ビーバー、原田幸一郎など、多くの著名なヴァイオリニストによるマスタークラスを受講。

2025年10月より、笹川音楽財団から貸与された1709年製のストラディヴァリウス「エンゲルマン」を使用している。

PROGRAM NOTES

解説: 小宮 正安

モーツァルト: 歌劇《劇場支配人》序曲 K.486

25歳を迎えた1781年に、それまで音楽家として長年仕えて来た故郷ザルツブルクの宮廷と決裂し、ウィーンでフリーの音楽家として活躍するようになったヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-91)。そんな彼が1786年、音楽付き喜劇の音楽部分を作曲するよう、ウィーンの劇場関係者から依頼を受ける。こうして生まれたのが、《劇場支配人》だ。

劇の内容は、文字通りタイトルの通りだ。主人公である劇場支配人が、劇団を結成して新作の劇の上演を目指そうとするものの、我儘な歌手やスタッフに翻弄されて…という、「楽屋オチ」を描いたストーリーとなっている。本日演奏される序曲は、そんな喜劇の幕開けにふさわしい、コミカルなものとなっている。

■ 楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 op.26

今回演奏されるヴァイオリン協奏曲第1番や『コル・ニドライ』といった数曲を除き、現在ではほぼ忘れ去られてしまった作曲家マックス・ブルッフ(1838-1920)。ただし生前の彼は、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)に象徴されるドイツ音楽の保守本流の継承者として、自他ともに認められた有名人だった。つまり逆にいえば、有名であり、例えば同時代人のスター音楽家フランツ・リスト(1811-86)の作品に見られる標題音楽や、派手なオーケストレーションには批判的だった。

そんなブルッフが、20歳代の後半に作曲し、その出世作となったのが当協奏曲である。しかもこの作品は、当時ヴァイオリン協奏曲…といおうか協奏曲全般にしばしば見られたスタイルとは対極をゆくものだった。つまり、独奏者が華麗な技を披露する一方で、オーケストラが伴奏者として引き立て役に回るのではない。独奏と管弦楽が一体となって堅固に曲を形作ってゆく、いわば交響曲的な協奏曲のあり方が志向された。しかも、3つの楽章が途切れなく演奏され、第1楽章(しかもこの楽章は「前奏曲」と銘打たれており、第2・3楽章を導入する先触的な役割を与えられている)が短調を基本とした深刻な楽想に貫かれるという、これも独奏者の腕自慢としての協奏曲とは異なるコンセプトに基づいている。

なおこの作品は、1866年に最初の版が初演されたものの、約2年にわたって改訂作業がおこなわれた(本日の演奏も、この改訂版に基づく)。一度完成した作品に満足せず、さらなる高みを目指す…。それは、ブルッフが自らの偉大な先達と仰いでいたベートーヴェンの姿勢とも共通する姿勢に他ならなかった。

■ 楽器編成：独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。

ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》ハ短調 op.67

西洋音楽史上、様々なジャンルで革新的作品を発表するとともに、ブルッフをはじめ後世の音楽家に多大な影響を与えたベートーヴェン。そんな彼が残した様々なジャンルの作品の中でも、とりわけ交響曲で彼が打ち立てた功績は大きい。

元々交響曲はオペラや芝居の序曲から派生し、第1楽章や最終楽章は演奏会の開幕や終了を告げる役割を担っていた(また他の楽章についても演奏会の要所々々で取り上げられ、交響曲が現在のように全曲まとめて演奏されるというケースはかなり珍しかった)。ところが、ベートーヴェンは、そうした交響曲のあり方を一変させる。特に『交響曲第5番』は、そうした特徴が明確に刻印された作品に他ならない。

まずこの曲については何よりも、「暗から明へ」あるいは「闘争を経て勝利に至る」という、ベートーヴェンの作品を語る際によく用いられる表現が典型的にあてはまる。ベートーヴェンは若き日に勃発したフランス革命に熱狂し、フランス革命の体現者としての錦の御旗を掲げたナポレオン・ボナパルト(1769-1821)に一時心酔した経験の持ち主だ。結局のところこのナポレオン崇拜は、ナポレオン本人の名誉欲や侵略者としての姿勢を目の当たりにしたことで消え去るが、だからこそベートーヴェンは音楽の中に純粋な革命思想の実現を試みようとした。

そうしたベートーヴェンの姿勢に共鳴したのが、市民階級である。それまで王侯貴族をはじめとする特権階級の支配下に甘んじてきた彼らは、フランス革命が大きなきっかけとなり、みずからの社会的地位向上のために立ち上がる。その際崇拜的となったのが、ベートーヴェンに他ならなかった。耳の病をはじめとする様々な困難と闘いながら歩んでゆこうとするベートーヴェンの生き方そのものも、裸一貫の状態から身を起こし社会的進出を何とか遂げようとしている市民たちにとっては、みずからの規範として仰ぐにふさわしいものだった。

1807年頃に本格的に着手され、1808年に完成された『交響曲第5番』にも、ベートーヴェンと市民階級の理想が溢れんばかりに詰まっている。つまりオーケストラというメディアを用い、演奏会の場において多くの聴衆と感動を分け合うマニフェストであって、それゆえ元来の交響曲が担っていたお気楽な立ち位置とはまったく異なる内容を見えるに至った。

とりわけそれが典型的に表れているのが、第1楽章の冒頭に奏でられる『ロタタタ／ターン』というリズムが、全曲のそこかしこに張り巡らされ、交響曲そのものに大きな緊張感をもたらしている点。しかもそうしたリズムを背景に作られた第3楽章と第4楽章を切れ目なしに繋ぎ(つまりそれまでの交響曲の上演ではありがちだった、各楽章バラバラの演奏を拒否し)、暗から明への一大転換を成し遂げてみせた点だろう。

初演こそ、当時の演奏会の常として新作ばかりを並べた長大なプログラムのために練習時間が足りず失敗に終わったが、評価はすぐに高まっていった。またそれほどまでに、当時の演奏会の担い手となっていった市民の心の琴線に触れる作品だったのであり、やがて「運命」というニックネーム(これ自体は、ベートーヴェンの晩年に無給の秘書として仕えていた人物がでっち上げたと思しきエピソードに基づいているのだが…)が付けられていったのも頷ける。

■ 楽器編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

《劇場支配人》誕生秘話

本日の演奏会の冒頭で、序曲が演奏される《劇場支配人》。この作品は、しばしば「オペラ(あるいは「歌劇」)」と表記されることもあるが、オペラのように、音楽が原則的に切れ目なしに続くわけではない。むしろ解説にも書いたように「音楽付きの喜劇」、つまり舞台劇の合間に歌と管弦楽が入るといった構成だ。

実はこうしたスタイルの劇が花開いたのは、時の権力者による後押しがあったからである。その人物こそが、モーツァルトが後半生の本拠地としたウィーンをお膝元に、ヨーロッパ中央部分に巨大な帝国を築いていた名門貴族ハプスブルク家の当主ヨーゼフ2世(1741-90)。彼は、折しも力をのばしつつあった市民階級のために、上からの様々な開放政策をおこなう中、特権階級に独占されてきたオペラを、しかも宮廷劇場で市民にも楽しんでもらおうと考える。さらに、伝統的なオペラで用いられていたイタリア語と並んで、市民にもわかるドイツ語でオペラを上演すべし、というお触れまで出した。

なおハプスブルク家は、結婚政策によって領土を広げていったことでも有名だが、その際、相手から一目置いてもらうため、文化政策に力を入れてゆく。その目に見える形が、帝都ウィーンに、宮廷劇場を2つも構えたこと。1つはケルトナー門劇場、もう1つはブルク劇場という名前だった。そしてヨーゼフ2世は様々な試行錯誤を経たのち、前者でドイツ語のオペラ(厳密にはオペラと演劇の中間形態ともいえる「歌芝居」)、後者でイタリア語のオペラを上演する方法を創り上げる。

そんなハプスブルク家の文化政策の豊かさを、外国からウィーンへやって来たVIPに見せるべく、同家縁のシェーンブルン宮殿で、ヨーゼフ2世は1786年に「オペラ合戦」を開催した。その際、ドイツ語オペラの代表格としてモーツァルトが抜擢され、《劇場支配人》(原題を直訳すれば「演劇支配人」、つまりは先ほど述べた歌芝居が上演される劇場の支配人のこと)が書き下ろされた、という次第。ちなみにイタリア語オペラの代表としては、モーツァルトの同業者であるアントニオ・サリエリ(1750-1825)が起用され、《はじめに音楽、次に言葉》というミニ・オペラが作られたのだった。



1786年、シェーンブルン宮殿で催された宴の様子。
この席で《劇場支配人》が初演された。▶

NEXT CONCERT

>> 次回横浜定期演奏会

第419回横浜定期演奏会

2026年7月4日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール

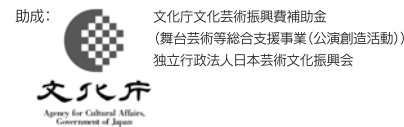
オーケストラガイド 小宮 正安氏

■1回券料金

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥6,500 C 完売 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※Ys席:25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。



サン=サーンス:
歌劇《サムソンとデリラ》
op.47より「バックナール」

グリーグ:
ピアノ協奏曲
イ短調 op.16

チャイコフスキー:
交響曲第6番《悲愴》
ロ短調 op.74



©Taira Tairadate

ピアノ: 實川 風

指揮: 西本 智実

情熱と色彩が彩る、 ドラマティックで美しい音楽の旅。

指揮者・西本智実が手がける、物語性に富んだ鮮やかなプログラム。幕開けは、サン=サーンス《サムソンとデリラ》より「バックナール」。エキゾチックなリズムと官能的なエネルギーが、会場を一気に熱気で包み込みます。続いて、注目のピアニスト實川風を迎えグリーグの「ピアノ協奏曲」を。北欧の自然を思わせる清澄な旋律と、怒濤の展開が見事に融合したこの作品を、實川は誠実な表現と高い技術で紡ぎます。

そして最後は、チャイコフスキーの傑作「交響曲第6番《悲愴》」。作曲者の魂の叫びとも言える深い悲しみと、ほのかな希望が交錯するこの音楽は、聴く者の心を深く揺さぶります。色彩、感情、そして物語が交差する、ドラマティックな旅をお楽しみください。

**1** 3月16日ミュージック・ラボ

弦楽四重奏のリハーサルを公開し、音楽が生まれる過程を体感する新企画。企画デザインはVn.佐藤駿一郎。実は演奏メンバーにも事前共有なし、というドキドキの試みとなりました。

**2** 3月23日東京室内楽定期

70周年を記念してスタートした東京室内楽定期、おかげさまで満席となりました!楽員による企画・プロデュースで、第1回は豪華に3組計14名が登場。一人一人の音色をじっくりお楽しみいただけましたでしょうか。次回の11月29日ヤマハホールもご期待ください!

**3** 3月24日 出張ロビーコンサートin杉並公会堂

日本フィルが本拠地とする杉並公会堂のロビーで「春」を感じる曲をお届けしました。フルートと弦楽器の音色でお昼の優雅なひと時を杉並区の皆さんと過ごしました。

**4** 3月28日さいたま定期演奏会

さいたま定期演奏会、尾高マエストロとベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番(ピアノ:牛田智大さん)とベートーヴェンの交響曲第5番をお届けしました。完売御礼、ありがとうございました。コンマスの扇谷と3人でパジャリ!

**5** 3月29日春休みオーケストラ探検

春休みオーケストラ探検2026!0歳からたくさんのお客様にご来場いただきました。ありがとうございました。みんなの歌声のハーモニーで、杉並公会堂に虹が輝きました!また来年もお会いしましょう!

**6** 4月10日、11日東京定期演奏会

新シーズン開幕はマーラー修正版のベートーヴェン交響曲第9番。オリジナルとはまた違ったゴージャスな響きを首席指揮者カーチン・ウォンの指揮でお届けしました。

**音楽体験の場をつくる**

日本フィルでは、小中学校や保育園、地域のコミュニティセンターや高齢者向けホームなど、日常の延長にある場所へ出向き、室内楽の演奏を届けています(アウトリーチ活動)。コンサートホールとは異なる距離感で音楽と出会う場をつくることも、私たちの大切な活動の一つです。

そうした現場では演奏を一方向的に届けるのではなく、参加者とのやりとりを重ねながら、その場で生まれる反応を受け止めていくことを大切にしています。このような関わりの中で、音楽体験が“自分ごと”となり、一人ひとりの中に残っていくことを願っています。

こうした日本フィルのアプローチを象徴する取り組みの一つが、「ワークショップ」です。音楽を「聴く」だけでなく、演奏や創作、対話などを通して、参加者が主体的に音楽と関わる体験型プログラムを展開しています。

今年3月には、新たなワークショップの取り組みとして、《日本フィル ミュージック・ラボ》を実施しました。室内楽のリハーサルを公開し、楽員一人一人の演奏がどのように絡み合い、形づくられていくのかを間近で体験するこの企画では、演奏者同士の対話や音の変化を通して、音楽が生まれる過程に触れる機会を提供しました。

子どもから大人まで、音楽体験を通して自分を表現し、他者と響き合うこれからも、そんな豊かな対話と発見が生まれる場を、私たちは大切にしていきたいです。

音楽の現場から

私が学校などで演奏をする際、子どもたちとの関わりにおいて常に対等な関係を大切に、オーケストラとしての在り方を意識しながら、音楽体験と対話を重ねることを心がけています。

ワークショップでは、その場限りの体験ではなく、音楽が日常へと自然に広がっていくことを信じています。世代を超えた体験の中で生まれる小さな気づきや表現が、やがてオーケストラへとつながり、余白を生み、音楽が呼吸する空間を育てていく。この積み重ねが小さな居場所となり、オーケストラが誰にとっても心の拠り所となる“3rd place”のような存在になっていけたらと願っています。

©井村 重人
ヴィオラ 中川 裕美子

今後の日本フィル出演公演

2026年6月～9月

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
6月	フレッシュ名曲コンサート どりーむコンサート Vol.133 府中の森芸術劇場どりーむホール 28[日]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:福田 麻子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》	お問い合わせ: 府中の森芸術劇場
	第156回 さいたま定期演奏会 ソニックシティ 3[金]19:00	指揮:西本 智実 ピアノ:貫川 風 サン=サーンス: 歌劇《サムソンとデリラ》より 「パッカナール」 グリーグ:ピアノ協奏曲 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》	日本フィルeチケット▶
7月	第419回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 4[土]15:00		日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット▶
	第82回杉並定期演奏会 杉並公会堂 5[日]15:00 完売		
	第782回東京定期演奏会 サントリーホール 10[金]19:00 11[土]14:00	指揮:フランソワ・ルルー ヴァイオリン:諏訪内 晶子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ:交響曲第5番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット▶
7月～8月	夏休みコンサート2026 18[土]14:00 千葉県文化会館 19[日]14:00 府中の森芸術劇場 20[月・祝]①13:00/②17:00 東京芸術劇場 22[水]14:00 杉並公会堂 ※お問い合わせ:杉並公会堂 24[金]①12:00/②15:30 サントリーホール 25[土]14:00 ソニックシティ(大宮) 26[日]①12:00/②15:30 横浜みなとみらいホール 29[水]14:00 ロームシアター京都 1[土]①12:00/②15:30 サントリーホール 2[日]①13:00/②17:00 東京芸術劇場 3[月]①12:00/②15:30 横浜みなとみらいホール	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] (7/18-26) 園田 隆一郎(7/29-8/3) お話とうた:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団 バレエ振付・演出:鈴木 稔 ＜第1部＞ 舞踏会へようこそ! チャイコフスキー: 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」 J.S.バッハ:G線上のアリア J.シュトラウスII世:美しく青きドナウ ＜第2部＞ チャイコフスキー:バレエ《くるみ割り人形》 (日本フィル夏休みコンサート2026版) ＜第3部＞ みんなで歌おう だれにだってお誕生日 「にじ」(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲) 勇気100%	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット▶

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
8月	東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin岩手 盛岡市民文化ホール 6[木]15:30	指揮:園田 隆一郎 司会:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団	日本フィルeチケット▶
	フェスタ サマーミュージア KAWASAKI 2026 ミュージア川崎シンフォニーホール 9[日]15:00	指揮:クリストフ・コンツ ヴァイオリン:周防 亮介 J.シュトラウスII世: 喜歌劇《こもり》序曲 ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ブラームス:交響曲第1番	お問い合わせ: ミュージア川崎 シンフォニーホール
	東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin福島 いわき芸術文化交流館アリオス 11[火・祝]15:30	指揮:園田 隆一郎 司会:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団	日本フィルeチケット▶
	加藤昌則のぶっとび! クラシック講座スペシャル 「フランス人は サクソスが大好き!」 日本フィルハーモニー 交響楽団とともに贈る オーケストラ・レクチャー・ コンサート 長野市芸術館 30[日]14:00	講師・ナビゲーター:加藤 昌則 指揮:松井 慶太 サクソフォン:上野 耕平* プロコフィエフ: 組曲《ロミオとジュリエット》より 「モンタギュー家とキャピュレット家」 ビゼー: 《アルルの女》第2組曲よりメヌエット ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲『展覧会の絵』より「古城」 ドビュッシー:ラプソディ* 加藤昌則:新曲(世界初演)* ラヴェル:ボレロ	お問い合わせ: 一般財団法人 長野市文化芸術 振興財団
9月	にじクラ第11回 サントリーホール 2[水]14:00	指揮:角田 鋼亮 ヴァイオリン:前橋 汀子 ナビゲーター:高橋 克典 サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリツィオーソ マスネ:タイスの瞑想曲 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》他	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット▶

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]

日本フィルeチケット▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。japanphil.or.jp





咲かせよう、
まだない
キレイを。



想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in鹿島

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411 www.utena.co.jp

解体ってただ壊せばいいって
わけじゃないんです。

だから解体は TANAKEN



TANAKEN株式会社

〒105-7309

東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

コーポレートサイト



ブランドサイト



木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんです。

三井不動産グループは北海道で約5,000ヘクタールの森林を保有、管理しています。その大きさは東京ドーム約1,063個分。この森が吸収するCO2は年間、約21,315トンにもなるそうです。人の手で1本1本苗木を植え、下刈り、間伐などの手入れをして健康な森に育てる。そして、伐採適期を迎えた木材や間伐材を、ららぽーとや日本橋の街づくりに活用し、「植えるー育てるー使う」のサイクルを回し続けて、森を守っているんだって。街づくりには森や緑を生かすことが大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう



三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform
Tomorrow
Today

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたくと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額をメール donation@japanphil.or.jp までお知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページからクレジットカードによりご寄付いただけます。右の二次元コードからご寄付のサイトをご覧ください。

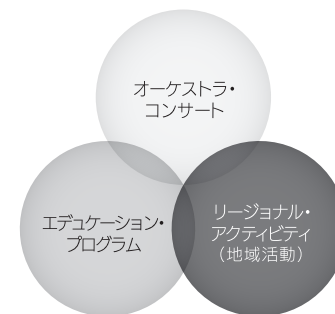


ご寄付をいただきました方には、後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる《リージョナル・アクティビティ》という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

特別会員

一般財団法人藤本育英財団 理事長 藤本 由紀子
株式会社中央デパート 代表取締役社長 木村 和貴
株式会社フルヤ金属 代表取締役 古屋 堯民

パトロネージュ

村上 泰大 神奈川県 / 匿名 2名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

パトロネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

アース製薬株式会社
代表取締役社長 CEO 川端 克宜

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静

あすか製薬株式会社
代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス
代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝

株式会社アダービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司

イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介

株式会社泉放送制作
代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社
代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎

株式会社インフォーマート
代表取締役社長 中島 健

ウエルシア薬局株式会社
代表取締役社長 田中 純一

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

宇部エクシモ株式会社
代表取締役社長 福永 謙二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社
代表取締役社長 児玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

株式会社エルイーテック
代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社

荻窪タウンセブン株式会社

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦

鹿島建設株式会社
代表取締役会長兼社長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太

株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎

キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方 健志

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グローブシップ株式会社
代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社
代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス
取締役社長 梁瀬 哲夫

京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コパヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コンサートサービス
代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井 信宏

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

ジーエルサイエンス株式会社
取締役社長 長見 善博

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也

株式会社集英社 代表取締役社長 林 秀明

株式会社シエルター 代表取締役会長 木村 一義

ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹

杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健

住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス
代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂

大日本除虫菊株式会社
代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

TANAKEN株式会社
代表取締役社長 中尾 安志

千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田 裕之

千代田化工建設株式会社
代表取締役社長 太田 光治

株式会社千代田テクノル
代表取締役会長 細田 敏和

株式会社中央デパート
代表取締役社長 木村 和貴

塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガカケノメイ

学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史

株式会社T&Aマネジメント
代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博
 株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 松本 千里
 東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
 株式会社東急コミュニティー 取締役社長 速川 智行
 東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長 城田 宏明
 株式会社東京交通会館 代表取締役社長 細包 憲志
 東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
 東洋熟工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
 戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則
 学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎
 株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司
 株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一
 日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩
 株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春
 日本精工株式会社 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊
 日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正
 日本電子株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉
 日本パーカライジング株式会社 代表取締役社長 萩原 吉晃
 株式会社ネイチャーズウェイ 代表取締役社長 萩原 吉晃
 根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子

ハウス食品グループ本社株式会社 代表取締役社長 浦上 博史
 株式会社博報堂 代表取締役社長 名倉 健司
 株式会社パッファロー 代表取締役社長 牧 寛之
 ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎
 阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
 税理士法人ヒイラギ 代表社員税理士 黒田 榮治
 東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
 株式会社美禅 代表取締役 堀 哲昭
 非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
 ひびき・パース・アドバイザーズ 代表取締役社長 清水 雄也
 株式会社ファミーコ 代表取締役 新庄真帆子
 富国生命保険相互会社 代表取締役社長 渡部 毅彦
 富士テレコム株式会社 代表取締役社長 土井 寛
 一般財団法人藤本育英財団 理事長 藤本由紀子
 古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真
 株式会社フルヤ金属 代表取締役 古屋 堯民
 合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
 ホッカンホールディングス株式会社 代表取締役社長 池田 孝資
 株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長 吉村 隆
 マネックスグループ株式会社 代表執行役社長CEO 清明 祐子
 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よるず 取締役社長 中村 正博
 丸文株式会社 代表取締役社長兼最高経営責任者 堀越 裕史
 丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
 株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕
 三井倉庫ホールディングス株式会社 代表取締役社長 古賀 博文
 三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信
 三菱HCキャピタル株式会社 代表取締役 社長執行役員 久井 大樹
 三菱オートリース株式会社 代表取締役社長 高井 直哉
 三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 伊佐早禎則
 三菱総研DCS株式会社 代表取締役社長 亀田 浩樹
 三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤
 三菱重工業株式会社 取締役会長 泉澤 清次
 三菱倉庫株式会社 代表取締役 社長 斉藤 秀親
 株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社 取締役社長兼CEO 関 浩之
 武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
 明治安田生命保険相互会社 取締役代表執行役社長 永島 英器
 メッドサポートシステムズ株式会社 代表取締役 谷川ひとみ
 株式会社メディアグラフィックス 代表取締役社長 我妻まどか
 森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社 終身名誉会長 堀 澄也
 山崎製パン株式会社 取締役会長 泉原 雅人
 コウキフーツシステム株式会社 代表取締役社長 田中 秀和
 横河電機株式会社 代表取締役 米持 大介
 リガク・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 川上 潤
 株式会社リョーサン 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
 株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広
 株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
 ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 東 克己

匿名5名

青山やすし 東京都	岩瀬 順子 神奈川県	加藤 丈夫 東京都	佐藤 寛之 東京都	田仲 博幸 東京都	西村 醇子 神奈川県	真野美千代 東京都	吉江 健志 千葉県
秋元 和美 東京都	岩田 達明 神奈川県	加藤 久喜 東京都	佐藤 正昭 東京都	田辺三基男 東京都	二村 英之 東京都	三木恵美子 神奈川県	吉川 美保 東京都
明田 重樹 東京都	上田 泰邦 東京都	加藤 頼宣 東京都	佐藤 正知 東京都	田村 一 山梨県	布村 清美 東京都	三木 繁光 東京都	吉田 貴美 神奈川県
浅野 純次 埼玉県	上野悦子・陽子 東京都	金子 修 埼玉県	佐藤 順英 福島県	田村 浩章 東京都	沼口 順子 東京都	峯島 茂之 東京都	吉田 公彦 神奈川県
朝吹 英和 東京都	宇賀神裕子 静岡県	金子 清 千葉県	座間 淑美 神奈川県	塚本 和久 東京都	根本 直之 千葉県	宮川 和哉 神奈川県	吉田 知世 東京都
厚田 理郎 東京都	臼井 潤 東京都	金子 肇 千葉県	澤井 敏雄 東京都	辻 雅夫 東京都	野谷 文昭 東京都	宮地 直紀 東京都	吉村 真幸 埼玉県
阿部 俊彰 神奈川県	内村 恒彦 神奈川県	香山 和子 神奈川県	島田 精一 東京都	蔦井 厚伸 東京都	箱崎 一彦 千葉県	宮本 裕二 兵庫県	吉村 匡則 東京都
新井 康允 神奈川県	江口 麗子 東京都	川合 孝一 千葉県	島田 晴雄 東京都	津田 義久 東京都	蓮見 正純 東京都	村上 純子 埼玉県	若林 昭子 東京都
荒木 秀隆 東京都	大久保 昇 神奈川県	菅野 治幸 神奈川県	清水 幸雄 東京都	常石 博之 東京都	原 俊 千葉県	村上 洋美 東京都	渡辺 和子 東京都
荒蒔康一郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	菊池 和美 東京都	下河辺美知子 神奈川県	積田 孝一 東京都	原 幸男 静岡県	村上 泰郎 東京都	渡邊規久雄 東京都
有江 純子 神奈川県	太田 達男 千葉県	喜多菟久江 東京都	下田 英一 東京都	一般社団法人 東京フロイデ合唱団 東京都	針谷 博史 東京都	村上 泰大 神奈川県	渡邊 直 東京都
安西祐一郎 東京都	大塚 宣夫 東京都	北村 裕 神奈川県	生島 貴司 千葉県		日高 好男 東京都	持田 泰 東京都	渡邊 裕志 山口県
飯田 桂子 東京都	大坪 昌広 東京都	木下 盛弘 東京都	晋友会合唱団 東京都	東瀬 朗 新潟県	平井 邦子 神奈川県	元永 徹司 神奈川県	Maru
飯田 百栄 東京都	大森 京太 東京都	木村 恵司 神奈川県	菅 千太郎 東京都	時枝 直満 東京都	平田 邦夫 神奈川県	森 稔樹 神奈川県	M.K.
家近 茂 東京都	岡田 尚子 埼玉県	久野 哲男 千葉県	杉本 功 東京都	徳田 陽一 東京都	広瀬 晴子 神奈川県	森川 智之 神奈川県	匿名65名
家近 信子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	久保田伸一 群馬県	杉山 秀子 東京都	外山 雄三 東京都	廣田 直人 東京都	森田 大輔 神奈川県	
五十嵐重雄 東京都	荻窪祝祭管弦楽団 東京都	倉谷 宏樹 東京都	杉山 浩明 東京都	中尾 誠利 神奈川県	深沢 茂実 神奈川県	森田ハルヨ 東京都	
池浦 慧 東京都		栗原真知子 埼玉県	鈴木 祐二 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	深見 敏正 東京都	矢口 敏和 千葉県	
池田 博 東京都	尾澤 弘久 東京都	黒田 真二 神奈川県	住野 公一 東京都	中島 奈穂 東京都	福井 英次 東京都	矢倉 俊紀 東京都	
池野 隆光 東京都	尾上 洋子 東京都	畔柳 信雄 東京都	関 兼英 東京都	中島美知子 東京都	福田 昭夫 東京都	山上 典彦 東京都	
池谷 光司 東京都	小野寺けい子 岩手県	甲賀 一宏 埼玉県	妹尾 絲子 東京都	長瀬 雅則 東京都	藤沢 薫 東京都	山岸 陽子 東京都	
石澤 卓志 千葉県	小野寺健一 岩手県	胡口 靖夫 東京都	仙石 通泰 東京都	中園 和博 東京都	藤野 盾臣 東京都	山口 幸子 東京都	
石塚 邦雄 東京都	小幡 尚孝 東京都	小林 和夫 東京都	宗 神子 大分県	中西 祥子 東京都	藤原 真也 東京都	山口 仁栄 東京都	
石津 寿恵 東京都	小原 道生 東京都	小林こずえ 東京都	染野 郁郎 東京都	永野 琢夫 東京都	星 桂太郎 東京都	山口 岳彦 栃木県	
石橋 秀雄 神奈川県	折田 昌子 東京都	小林 政雄 長野県	空田 幸徳 東京都	中村 公一 東京都	細谷 義徳 千葉県	山口 達之 長崎県	
伊藤 貴博 東京都	風間 沙織 神奈川県	小林 裕美 東京都	高井 延幸 神奈川県	中山 彩 東京都	牧野 澄夫 東京都	山口みどり 東京都	
伊藤 昌司 東京都	賀澤 裕三 福島県	駒見 俊彦 東京都	高木 宏忠 東京都	那須 雄治 東京都	増井 俊之 神奈川県	山越 章弘 長野県	
伊藤 好彦 東京都	片貝 英重 東京都	五味 康昌 神奈川県	高須 幸雄 東京都	棗 年紀・綾 東京都	増田 文彦 神奈川県	山田 敏之 神奈川県	
井上 直人 東京都	片山 英二 東京都	齋藤 武則 東京都	高田 信子 東京都	新倉 啓介 東京都	町田 公志 東京都	山田 宏己 東京都	
井上 浩良 東京都	片山 茂 千葉県	坂井 康柄 神奈川県	竹下 淑子 神奈川県	西澤 豊 東京都	松尾 東京都	山本 高稔 東京都	
井上 正敏 千葉県	桂 史子 東京都	定形 哲 神奈川県	竹中富知男 東京都	西谷 公男 東京都	松田 譲 東京都	油井 直次 東京都	
岩沙 弘道 東京都	加藤 壹康 静岡県	佐藤 武男 東京都	田中稀一郎 東京都		松村 美希 東京都	横川 直 東京都	

芸劇シリーズ 秋冬2公演セット券

発売日:6月10日(水)

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

芸劇シリーズ2公演セット

S席セット ¥12,000 A席セット ¥10,000

① 第264回芸劇シリーズ

1回券発売日:7月7日(火)

2026年11月1日(日)14:00

東京芸術劇場

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
 オーガエ:杉原 由希子[首席奏者]
 クラリネット:伊藤 寛隆[首席奏者]
 ホルン:信末 碩才[首席奏者]
 ファゴット:田吉 佑久子[首席奏者]
 モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136
 モーツァルト:協奏交響曲 変ホ長調
 (オーガエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)
 K.297b
 ベートーヴェン:交響曲第7番 イ長調 op.92



◎山本 倫子



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500
 料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

② 第267回芸劇シリーズ

1回券発売日:9月16日(水)

2027年1月10日(日)14:00

東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
 トランペット:児玉 隼人
 ハチャトゥリアン:組曲《仮面舞踏会》
 ハイドン:トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIc:1
 J.シュトラウスII世:喜歌劇《こもり》序曲
 J.シュトラウスII世:ワルツ《美しく青きドナウ》op.314
 ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲



◎Ayane Sato



◎Yuji Ueno

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500
 料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルチケット♪[席を選んでお申込できます] <https://eticket.japanphil.or.jp>
 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でも視聴いただけます(特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

第777回 東京定期演奏会 | 2026年1月17日(土)

指揮:広上 淳一
 ショスタコヴィチ:交響曲第15番 イ長調 op.141

第414回 横浜定期演奏会 | 2026年1月24日(土)

指揮:ヴァイオリン:ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク
 ベートーヴェン:《献堂式》序曲 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 他

第415回 横浜定期演奏会 | 2026年3月21日(土)

指揮:小林 研一郎 クラリネット:伊藤 寛隆
 モーツァルト:クラリネット協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》

第779回 東京定期演奏会 | 2026年4月10日(金)

指揮:カーチュン・ウォン ソプラノ:森谷 真理 メゾソプラノ:林 美智子 テノール:村上 公太
 バリトン:大西 宇宙 合唱:晋友会合唱団
 ベートーヴェン(マーラー「修正版」):交響曲第9番《合唱》

第413回 名曲コンサート | 2026年5月17日(日)

指揮:藤岡幸夫
 シベリウス:交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー:交響曲第5番
 ベルリオーズ:幻想交響曲

第780回 東京定期演奏会 | 2026年5月22日(金)

指揮:アレクサンダー・リープライヒ チェロ:佐藤 晴真
 ハイドン:交響曲第44番《悲しみ》 三善晃:昴つり星(チェロ協奏曲第2番)
 武満徹:群島S. -21人の奏者のための R.シュトラウス:交響詩《死と変容》

1か月
アーカイブ
6/21
まで販売

第781回 東京定期演奏会 | 2026年6月6日(土)

指揮:広上 淳一 ヴァイオリン:服部百音
 ガーシュウィン:《パリのアメリカ人》
 ファジル・サイ:ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》 コーブランド:交響曲第3番

1か月
アーカイブ
7/5
まで販売

■ 定年のお知らせ

ファゴットの鈴木一志が2026年5月7日に定年を迎えました。鈴木は1989年6月に入団し、ファゴット・セクションの要として活躍してまいりました。定年後も引き続き囑託の奏者として演奏いたします。今後ご期待ください。

■ 12月第423回横浜定期演奏会曲目追加のお知らせ

2026年12月第423回横浜定期演奏会に曲目が追加になりましたので、お知らせいたします。

第423回横浜定期演奏会

2026年12月19日(土)15:00

横浜みなとみらいホール

指揮: 阪 哲朗 オルガン: 勝山 雅世 ソプラノ: 隠岐 彩夏 カウンターテナー: 藤木 大地
 テノール: 小堀 勇介 バリトン: 池内 響 合唱: 東京音楽大学合唱団
 J.S.バッハ: 暁の星のいと美しきかなBWV739、羊は安らかに草を食み BWV208-9
 トッカータとフーガ 二短調BWV565(以上オルガン独奏)
 ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》 二短調 op.125

■ 【訃報】日本フィル理事・元首席ヴァイオリン奏者 石井啓一郎氏

日本フィルハーモニー交響楽団 理事(元首席ヴァイオリン奏者)の石井啓一郎氏が、2026年5月20日、逝去されました。享年77。葬儀は近親者のみにて執り行われました。

石井啓一郎氏は、1973年に日本フィルへ入団。アシスタント・コンサートマスター、首席ヴァイオリン奏者を歴任し、2012年に退団されました。一方で、1985年の財団設立時より2000年まで理事・運営委員長を務められ、2011年からは再び理事に就任。現在に至るまで長きにわたり、現役の理事として当団を支え続けてくださいました。

また、日本フィル退団後も現役のヴァイオリニストとして精力的に演奏活動を続けられ、故郷である山口県をはじめ、各地の音楽文化の振興に多大な功績を残されました。

ここに永年にわたる楽団へのご貢献に深く感謝申し上げるとともに、衷心より哀悼の意を表します。



©飯田 耕治

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫ら多彩な邦人作曲家へ新作委嘱を行ってきた。シリーズは42作にまで至り、その中には今日「古典」として定着した作品も少なくない。

2023年9月よりカーチュン・ウオンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約150回のオーケストラ公演を行う。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回に及ぶ。音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な活動として注目されている。

また、全国各地で地域と協働しながら音楽を通したコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は360回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育てている」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

5月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
 (50音順・敬称略) 匿名7名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。 ※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。 ※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1
 TEL:03-5378-5911(平日10時~17時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

指揮者

Conductor

創立指揮者	渡邊 暁雄 WATANABE Akeo
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎 KOBAYASHI Ken-ichiro
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン Lukács ERVIN
名誉指揮者	ジェームズ・ロツホラン James LOUGHRAN
客員首席指揮者	ネーム・ヤルヴィ Neeme JÄRVI
首席指揮者	カーチュン・ウオン Kahchun WONG
桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ Alexander LAZAREV
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一 HIROKAMI Junichi

コンサートマスター

Concertmaster

 ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋 OGITANI Yasutomu	 ソロ・コンサートマスター 木野 雅之 KINO Masayuki	 ソロ・コンサートマスター 田野倉 雅秋 TANOKURA Masaaki	 アシスタント・コンサートマスター 千葉 清加 CHIBA Sayaka
--	---	---	--

第1ヴァイオリン

1st Violin

 伊藤 太郎 ITO Taro	 太田 麻衣 OTA Mai	 九鬼 明子 KUKI Akiko	 齋藤 政和 SAITO Masakazu	 榊 渚 SAKAKI Nagisa	
 竹歳 夏鈴 TAKETOSHI Karin	 谷崎 大起 TANIZAKI Hiroki	 田村 昭博 TAMURA Akihiro	 中谷 郁子 NAKAYA Ikuko	 西村 優子 NISHIMURA Yuko	 平井 幸子 HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン

2nd Violin

 遠藤 直子 ENDO Naoko	 大貫 聖子 ONUKI Seiko	 岡田 紗弓 OKADA Sayumi	 神尾 あずさ KAMIO Azusa	 佐藤 駿一郎 SATO Shun-ichiro
 末廣 紗弓 SUEHIRO Sayumi	 豊田 早織 TOYODA Saori	 町田 匡 MACHIDA Tadashi	 松川 葉月 MATSUKAWA Hazuki	 山田 千秋 YAMADA Chitose

ヴィオラ

Viola

 客演首席奏者 安達 真理 ADACHI Mari	 江藤 史織 ETO Shiori	 小俣 由佳 OBATA Yuka	 小中澤 基道 KONAKAZAWA Motomichi	 児仁井 かおり KONII Kaori
 高橋 智史 TAKAHASHI Satoshi	 中川 裕美子 NAKAGAWA Yumiko	 中溝 とも子 NAKAMIZO Tomoko	 松澤 稚奈 MATSUZAWA Wakana	

ソロ・チェロ

Solo Violoncello

 門脇 大樹 KADOWAKI Hiroki	 菊地 知也 KIKUCHI Tomoya
---	--

チェロ

Violoncello

 石崎 美雨 ISHIZAKI Miu	 伊堂寺 聡 IDOJI Satoshi	 江原 望 EHARA Nozomu	 大澤 哲弥 OSAWA Tetsuya	 久保 公人 KUBO Masato
 篠原 和仁 SHINOHARA Kazuhito	 山田 智樹 YAMADA Tomoki			

コントラバス

Contrabass

 鈴村 優介 SUZUMURA Yusuke	 成澤 美紀 NARUSAWA Mikiko	 宮坂 典幸 MIYASAKA Noriyuki	 森田 麻友美 MORITA Mayumi	 山口 雅之 YAMAGUCHI Masayuki
---	---	---	--	--

フルート

Flute

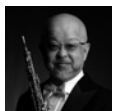
 首席奏者 真鍋 恵子 MANABE Keiko	 斎藤光晴 SAITO Mitsuharu	 難波 薫 NAMBA Kaoru
--	--	--

オーボエ

Oboe



首席奏者
杉原 由希子
SUGIHARA Yukiko



副首席奏者
松岡 裕雅
MATSUOKA Hiromasa



佐竹 真登
SATAKE Masato

クラリネット

Clarinet



首席奏者
伊藤 寛隆(楽団長)
ITO Hiroataka



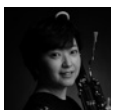
副首席奏者
楠木 慶
KUSUNOKI Kei



照沼 夢輝
TERUNUMA Yumeki

ファゴット

Bassoon



首席奏者
田吉 佑久子
TAYOSHI Yukuko



鈴木 一志
SUZUKI Hitoshi



中川 日出鷹
NAKAGAWA Hidetaka

ホルン

Horn



客演首席奏者
丸山 勉
MARUYAMA Tsutomu



首席奏者
信末 碩才
NOBUSUE Sekitoshii



伊藤 舜
ITO Shun



原川 翔太郎
HARAKAWA Shotaro



村中 美菜
MURANAKA Mina

ソロ・トランペット

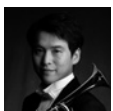
Solo Trumpet



オッタビアーノ・
クリストーフオリ
Ottaviano CRISTOFOLI

トランペット

Trumpet



首席奏者
大西 敏幸
ONISHI Toshiyuki



副首席奏者
犬飼 伸紀
INUKAI Nobuki



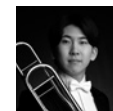
星野 究
HOSHINO Kiwamu

トロンボーン

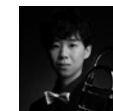
Trombone



首席奏者
伊藤 雄太
ITO Yuta



副首席奏者
笠間 勇登
KASAMA Yuto



福島 莉那
FUKUSHIMA Hana

バス・トロンボーン

Bass Trombone



中根 幹太
NAKANE Mikita

ティンパニ

Timpani



首席奏者
エリック・パケラ
Eric PIEKARA



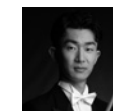
副首席奏者
池田 健太
IKEDA Kenta

パーカッション

Percussion



大河原 渉
OKAWARA Wataru



本間 雄也
HOMMA Yuya

テューバ

Tuba



柳生 和大
YAGYU Kazuhiro

ハープ

Harp



松井 久子
MATSUI Hisako

写真 ©井村重人

楽団長 伊藤 寛隆
チーフステージマネージャー 阿部 紋子
ステージマネージャー 長橋 健太/森田 大翔
チーフインスペクター 佐藤 駿一郎
インスペクター 鈴木 徳介/谷崎 大起
ライブラリアン 鬼頭 さやか/坂藤 史映/杉本 哲也

理事長(代表理事) 石塚 邦雄
副理事長(代表理事) 五味 康昌
専務理事(代表理事) 福井 英次
常務理事(代表理事) 後藤 朋俊
理事 佐々木 経世/田村 浩章/戸所 邦弘
栗田 順治/福本 ともみ/別府 一樹
福澤 宏哉/細谷 義徳
監事 加藤 丈夫
評議員会会長 青井 浩/安孫子 正/荒崎 康一郎
評議員 石村 等/稲垣 尚/内川 清雄
大塚 宣夫/梶浦 卓一/河北 博文
喜多 崇介/木村 恵司/久保田 隆
小林 研一郎/島田 精一/津田 義久
中根 幹太/西澤 豊/野間 省伸
福澤 一天/村上 典史子/山口 多賀幸
平井 俊邦
特別顧問 熊谷 直彦/島田 晴雄
名誉顧問

マネジメントスタッフ 浅見 浩司/磯部 一史/江原 陽子
及川 ひろか/小川 紗智子/萩原 里帆
賀澤 美和/香取 春子/金田 雅子
小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫
篠崎 めぐみ/山 綾子/山 までか
高橋 勇人/高橋 みゆき/田中 正彦
樋谷 祐子/中村 沙緒理/西田 大輔
西田 真菜/長谷川 珠子/樋高 雄太
藤田 千明/古館 順一/堀川 桂
宗澤 晶子/山岸 淳子/和田 美希
チーフマーケティングオフィサー 伊藤 治彦
シニア・パートナー 新井 康允/永島 義郎/南部 洋一
吉江 信博

団友 青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江
新井 豊治/石井 啓一郎/伊藤 恒男
伊波 睦/宇田 紀夫/遠藤 功
遠藤 剛史/大石 修/寛 美知子
柏熊 由紀子/加藤 祐一/金本 順子
蒲谷 隆行/川口 和宏/川口 貴
菊田 秋一/岸良 開城/吉川 利幸
木村 正伸/小山 清/斎藤 千穂
佐々木 裕司/佐藤 玲子/菅原 光
高木 裕子/高木 雄司/高木 洋
高倉 理実/高山 智仁/田沢 烈
立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代
豊田 尚生/中川 二郎/中里 州宏
永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎
橋本 洋/畑井 紀代子/平賀 法子
福島 喜裕/本田 純一/松本 克巳
松本 伸二/三本 克郎/宮武 良平
三好 明子/森 茂/山下 進三
山科 淑子/渡辺 哲雄

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

チケットお申し込み・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp/>




 公式 X (旧Twitter)
@Japanphil



 公式
アカウント



 公式
インスタグラム



 公式
Facebook



メールマガジン
日本フィル NEWS はこちらから登録！



日本フィル公式YouTube  / @JapanphilMovie

「2分でわかる！
大人のためのオーケストラ入門Plus+」

毎月10日・20日に
お届け

